

貧酸素水塊速報 (2016年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 【協力】 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 (国)国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成28年8月18日観測結果

17日に通過した台風7号による強風の影響で、貧酸素水塊の分布域は一時的に縮小し、現在は内湾中央部から横浜沖にかけての水深15m以深に分布しています(図1)。溶存酸素量0.5ml/Lを下回るような、強く貧酸素化した水塊はみられません。縦断ラインにおける鉛直分布をみても、内湾中央部から扇島沖の水深15m以深が貧酸素化しているのがわかります(図2)。規模は8月上旬より小さくなり、直近10年の平均を下回っています(図3)。

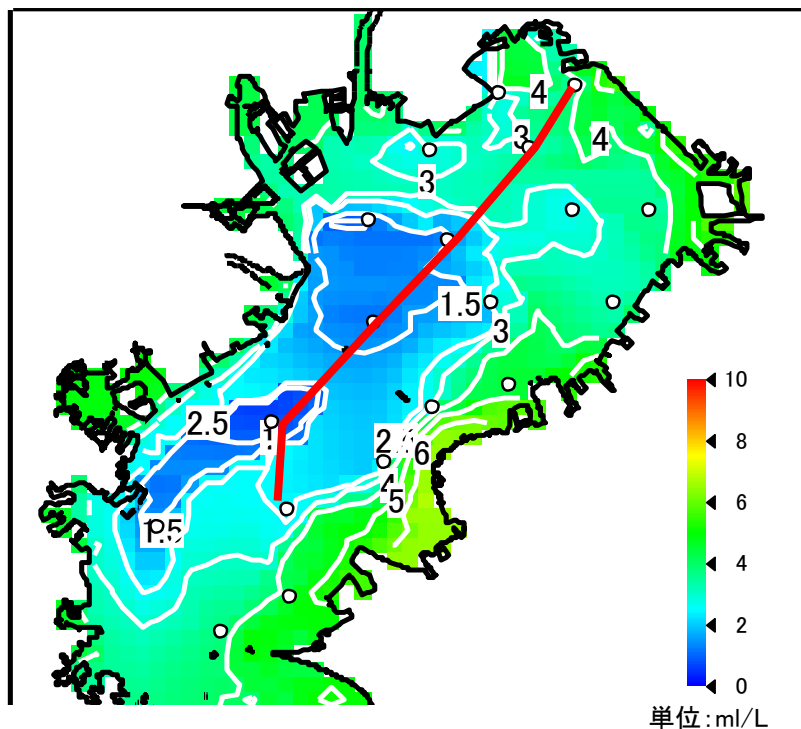


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

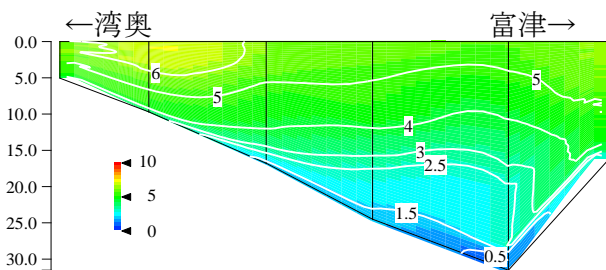


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

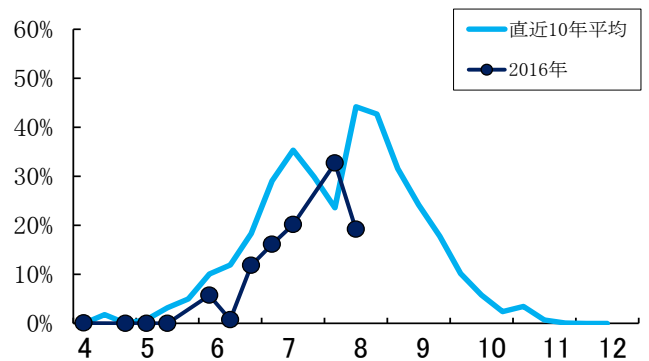


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)